

校内意見発表大会

6月15日に農業クラブ主催の校内意見発表大会がありました。総合学科からも各学年から2名ずつがクラスの代表として参加しました。

この発表会は次のような3つの区分になっています。Ⅰ類は「生産・流通・経営」に関する内容、Ⅱ類は「開発・保全・創造」に関する内容、Ⅲ類は「ヒューマンサービス」に関する内容です。Ⅰ類にはG3猪俣友花さんが、Ⅱ類にはG1田原志菜さん、G2齋藤伶芽さんが、Ⅲ類にはG1大庭萌実さん、G3田原歩果さん、神代 涼花さんが参加しました。

以下は、それぞれの発表の概要です。

【Ⅰ類】・・・「生産・流通・経営」に関する内容

G2猪俣友花さん

発表テーマ「祖母の野菜が教えてくれたこと」

私は祖母の作っている野菜から2つのことを学ぶことができました。一つ目は普段普通に食べている食材は当たり前のことではないということです。二つ目は当たり前だと気付けたときには「ありがとう」ということの大切さです。このように、「当たり前は当たり前ではないということ」と「感謝の気持ちの大切さ」について発表しました。

【Ⅱ類】・・・「開発・保全・創造」に関する内容

G3神代涼花さん

発表テーマ「地域の方に支えられて」

総合学科では毎年イチゴジャムを作ります。私は食品科学系を選択しているため作るだけでなく、販売をする機会もあります。その中でたくさんの地域の方々とかかわり、皆さんの温かさを強く感じました。買ってくださるときの笑顔は忘れられません。このイチゴジャムの製造から販売の様子や思いを発表しました。

G2齋藤伶芽さん

発表テーマ「食料を大切に」

私は、現在では節分の行事として一般化されている恵方巻について取り上げました。授業で恵方巻が大量廃棄させていることを知りました。また、日本では超大量の食品ロスが発生しています。東京都民が1年間食べていける量が発生しているということです。そこで、すこしでもこの食品ロスが減るよう食料に対する考えを発表しました。

【Ⅲ類】・・・「ヒューマンサービス」に関する内容

G1田原志菜さん

発表テーマ「未来へつなぐ伝統芸能」

私は「石見神楽の魅力はどんなところなのか」、「自分が石見神楽を通して何を学んだのか」、「何を感じたのか」についての意見を述べました。

この伝統芸能である石見神楽を未来につなぐために、私は保育園に通う子どもたちに石見神楽の楽しさを知ってほしいと考えました。実際、自分が教える立場になってみると、とても難しかったですが、伝わった時の喜びはとても大きなものでした。この様子と感動を発表しました。

G3田原 歩果さん

発表テーマ「備えの大切さ」

4月9日午前1時32分、「ゴオー」という地響きがし、大きく揺れたあの日、私は怖くてたまりませんでした。私はあの日の後から防災用のリュックを作り、何が起きてもすぐに逃げられるように頭の上に置いて備えています。日本は災害が多い国なのでひとり一人が常に防災に対する意識を高く持ち行動してほしいと思います。そして一人でも多く災害犠牲者が減ってほしいと思います。この思いを発表しました。

G1大庭 萌実さん

発表テーマ「おやつ文化を通して学ぶこと」

私は将来保育士の仕事に就きたいと思っています。保育園では3時におやつの時間があり、おやつを食べます。私はこのおやつに興味があり、調べてみました。おやつ文化は日本だけではなく、世界の各地域に様々な形のものがありました。そして、年齢によっても、目的によっても様々でした。そこで、このおやつ文化について発表しました。

総合学科6名の生徒の結果は次のとおりです。

Ⅰ類優秀賞・・・G2猪俣友花さん

Ⅱ類最優秀賞・・・G3神代涼花さん

Ⅱ類優秀賞・・・G2齋藤伶芽さん

Ⅲ類最優秀賞・・・G1田原志菜さん

Ⅲ類優秀賞・・・G3田原 歩果さん、G1大庭 萌実さん

最優秀賞のG3神代さんとG1田原は7月18日に矢上高校で行われる県大会に出場します。頑張ってください。